

第 29 回国際地図学会議 (ICC2019) 研究発表募集

2019 年 7 月 15 日～20 日にかけて東京で開催する第 29 回国際地図学会議 (ICC2019) は、国際地図学協会 (ICA) が 2 年ごとに開催する国際会議であり、1962 年の第 1 回から当会議で 29 回目を迎える地図学分野では最も歴史と権威のある国際会議です。この会議の日本での開催は、1980 年の第 6 回の東京大会以来、39 年ぶり 2 回目となります。

現在、ICC2019 での研究発表を募集しています。地図学 (cartography) や地理情報科学 (GIScience) に関わる幅広いテーマで論文と要旨を募集していますので、奮ってご投稿いただければ幸いです。

投稿の形式には論文 (8 ページ) と要旨 (1-2 ページ) の 2 通りがあります。すべての論文・要旨は ICA の査読委員会による査読を経ます。論文の投稿は、ICA の *Advances* シリーズの論文集掲載への投稿となります。その中からさらに選抜された論文が、*International Journal of Cartography* に掲載されます。要旨の投稿は、ICA の発表論文集または発表要旨集掲載への投稿となります。また、ICC2019 での発表形式には、口頭発表とポスター発表の 2 通りがあります。

[募集に関わる日程]

2018 年 12 月 5 日	論文 (Full papers) 投稿締め切り
2018 年 12 月 19 日	要旨 (Abstracts) 投稿締め切り
2019 年 2 月 20 日	査読結果通知
2019 年 4 月 3 日	最終原稿提出締め切り

[ICC2019 のテーマ]

T01	芸術と地図学
T02	アトラス
T03	地図遺産のデジタル化
T04	地図学と子ども
T05	早期警戒・危機管理の地図学
T06	地理情報可視化と認知
T07	教育・訓練
T08	総描と多様な表現
T09	地理空間解析とモデル化
T10	持続性のための地理空間情報
T11	地図学史
T12	位置情報サービス (LBS)
T13	地図のデザイン
T14	地図作成と地理情報管理
T15	地図投影法
T16	視覚障害者向け地図と表現
T17	地図とインターネット
T18	山岳地図学
T19	オープンソース地理空間技術
T20	惑星地図学
T21	空間データ基盤と標準
T22	センサー・マッピング

- T23 地形図作成
- T24 地名学
- T25 ユビキタス・マッピング
- T26 利用、利用者、使いやすさ
- T27 視覚分析
- T28 海洋地図
- T29 デジタルヒューマニティーズと GIS
- T30 GIS と地図学
- T31 地理的プロセスの視覚化と分析
- T32 都市を地図化する
- T33 デザインと視覚変数：ベルタン再考
- T34 Geo for All、オープンソース GIS 教育
- T35 クラウドソース型地理空間情報再考
- T36 日本地図史
- T37 SDGs のための地図
- T38 環境地図
- T39 理論地図学
- T40 AI、ロボット工学、自動運転車
- T41 ゲームと地図
- T42 ビッグデータとデータサイエンス
- T43 その他のテーマ

詳細は、公式ウェブサイト <http://icc2019.org> をご覧ください。

第 29 回国際地図学会議組織委員会
事務局連絡先：icc2019@issjp.com